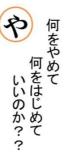
## 氷 山 モ デ ル シ ー ト (WSOO9) ver.2 +ガイド付き

## 課題になっている行動(気になる行動)

## 終わりなどの 見通しを持てない



「やめなさい」



監修・文 水野敦之 絵:宗貞由貴

環境・状況の要因	本人の特性	子 本人の経験や気づきの影響
■ 様々な状況の変化 その時の指示や期待などが変わる。	■ 受容コミュニケーション の特性:曖昧で抽象的な指 示の理解が難しい	□ 習慣になっているものがある
■ 影響を与える刺激や情報 本人がイメージできない曖昧な	■ 時間の整理統合の困難さ	■ 自分流の気づき・考え方をもつ 曖昧な時間が続くと、適切ではない活動ですごす。
指示	<u>: 次への見通し、切り替え</u> が難しい。	□ 過去に経験したこと学んだことを
■ 必要な支援がない 見通しに関しての指示がない。 「やめる」だけの指示だけで、	■ 空間の整理統合の困難さ	<ul><li>□ 過去に経験したことにより恐怖や嫌悪感をもっていること</li></ul>
「これやっていいよ」の指示がない。	■ 想像思考の困難さ:「や めなさい」で自分で次の見	
口その他	<u>通しを想像することが難し</u> い。	
■ 行動前の状況※		■ 行動後の状況・結果※
「待ちます」という曖昧な指示		待てずに静止される、混乱する

活用できる他の資源	活用できる本人のスキル	活用できる本人の気づき	
1 対 1 で教えるエリアがある	絵、写真の理解できる 時間(時計)の理解はある印を すれば時間の幅をりかいでき る。		
支援計画 ※支援の具体的な計画は自立課題シートで整理する方法もあります			
環境を変える部分は?	本人の特性にあわせた支援は?	本人に伝える・教える部分は?	
・本人が理解できる文章+絵や 印で伝える。	<ul><li>・時計で終わりの時間を提示する。</li><li>・1日の活動の見通し、選択肢をスケジュールやチョイスボードで提示する。</li></ul>	<ul><li>・待つ時の過ごし方リストからの選び方を教える</li><li>・それぞれの活動の時間を、1対1の時間で決める。</li></ul>	

## 解説と支援の方向性について

自閉症の人の中には、「ダメ」「やめなさい」をイメージすることが難しい方がいます。「ダメ」「やめなさい」が何をやめるのか、その後何をすればいいのかが難しいのです。本人に理解しやすい形で「やめる」「終わり」を伝える必要があります。YES、つまり「これやっていいよ」又は「次は〇〇」を伝えることが大切です。禁止の指導は、「終わり」「やめる」という意味から、「ダメ」という意味を教えていきます。